

ス ク ラ ム

令和 6 年 7 月 1 日 (月)

大泉町立南中学校

第 2 学年 学年通信

第 6 号

体育祭の作文紹介 (2・3組の5名を紹介します!)

『思い出に残った体育祭』 2年2組 ○○○○

僕は、今年の体育祭が去年の体育祭よりも最高に楽しく、深く思い出になったと思います。体育祭が最高の思い出になった理由として、そのときのことを振り返ると2つ思いつきました。

1つ目は、練習のときについてです。今年の体育祭練習は去年よりも回数がとても少なかったです。そのため、体育祭本番で全力を出すために少ない練習を毎回大切にして取り組んでいました。そんな練習だったからこそ、今年の練習では去年できなかった全力を出して取り組むことができました。

2つ目は、体育祭当日のことについてです。今年の体育祭で、僕は始めて学級対抗リレーに出ることになりました。正直僕は足が遅く、他のクラスの子が速くて抜かされてしまうかもしれないとすごく心配でした。だけど、そんなことを思っている僕に、周りの友だちが「がんばれ」などと声をたくさんかけてくれました。そんなことを言うてくれたので僕の心配はなくなり、走りきることができました。友だちのおかげで全力で走ることができたので、すごくうれしかったです。次は僕も声をかけようと思いました。



今年の体育祭で楽しめた理由として、友だちの存在が大きかったのだと思います。練習のときもたくさんアドバイスしてくれました。今回の体育祭で学んだことを生かして、次の合唱コンクールや来年の体育祭で全力を出せるようにがんばりたいです。



『2年2組の体育祭』 2年2組 ○○○○

私は今回の体育祭を終えて、楽しかったことや学んだこと、感じたことがあります。

まず、楽しかったことです。全員種目であった全員リレー、綱引き、チームジャンプはクラスで団結することが重要でした。皆で応援の声をかけ合ったり、バトンをつないだり、皆で足をそろえたりすることは普段の生活ではなかなかないので、クラスが団結したことを実感できたのが楽しくて、嬉しかったことを覚えています。皆が心を合わせたあの一瞬は、とても良い経験だったと思います。

次に、学んだことです。クラスで応援し合って団結したことで、周りや団結し、支えることの大切さを学びました。さらに、仲間を大事にするの大切さも学ぶことができました。

最後に、感じたことです。去年、私たちのクラスは優勝したので負ける悔しさを知りませんでした。しかし、今年は惜しくも準優勝でした。このクラスなら絶対に勝てるという自信があったため、すごく悔しかったです。悔しかったけれど、同時に楽しかったとも感じました。一人一人が全力を出し切ったからこそ、悔しさも楽しさも感じることもできたのだと思います。

私はこの2年2組というクラスが大好きです。一人一人が一つのことに一生懸命になって、互いに頑張り進み続けることができる最高のクラスだと思います。負けてしまったかもしれないけど、体育祭を終えて手に入れることができたものは沢山あります。これからの行事や普段の生活でも、手に入れたことを力にして、これからも進み続けていこうと思います。



『体育祭を終えて』 2年3組 ○○○○

私は、体育祭を終えて思ったことが2つあります。

1つ目は、体育祭が楽しく思えたことについてです。私は、最初の頃は体育祭にあまり本気じゃありませんでした。体育の授業や運動はあまり得意ではありませんし、まわりに迷惑をかけないぐらいでいいだろうと思っていました。けれど、その考えは先生の言葉で変わりました。だいたい先生は、体育祭などの行事では、「絶対に勝たなければいけない」みたいなプレッシャーがありました。けど、私の担任の先生は、「みんなが楽しめればいい」という考えでした。それは建前ではなくて、本気で言っているのがわかりました。チームジャンプでは、みんなで声を出して全力で跳んだとき、先生は「10回跳べればいい」と言ってくれました。だから私は練習にも全力で取り組んで、その分体育祭が楽しく感じられました。体育祭に全力で取り組めて楽しめたのは、先生のおかげです。

2つ目は、順位が3位で、とても悔しかったことです。私は前にも言ったとおり、あまり乗り気ではなかったです。けれど、先生のおかげで全力で取り組めたので、その分とても悔しかったです。だから私は体育祭で優勝できなかったことが悔しかったけれど、全力でやり切ったので楽しかったし、とてもいい思い出ができたと思っています。

私は、体育祭は優勝できなかったので、合唱コンクールで勝ちにいきたいと思います。けど、これは絶対ではなくてあくまでもやっぱり「みんなで楽しむ」＝「全力でやりきる」ことを目標にしてがんばりたいです。そしたら今回のように勝っても負けても最高の思い出になると思います！



『体育祭を終えて』 2年3組 ○○○○

私は、体育祭で優勝を目指して練習をしてきました。スウェーデンリレーで1位をねらっていたこともあり、代表選手に選ばれてすごほりきっていました。バトンがなかなか上手くつながらず、「自分のバトンミスで負けてしまったら・・・。」というプレッシャーに押されていました。気がついたら本番で、不安と緊張で押しつぶされそうになりながらも少しでも勝つために力になりたいと思い走りまわりました。バトンパスは上手くできてほっとしたけれど、距離をあまりつめられず、申し訳ない気持ちでいっぱいだったけれど、最後はアンカーががんばってくれてすごうれしかったです。それとともに来年はもっと速くなって活躍したいという気持ちがたくさんわいてきました。

次に全員種目である全員リレーとチームジャンプです。バトンパスを失敗せずにきれいに繋げた全員リレーは、みんなの気持ちが1つになっていたからこそだと私は思いました。練習時間少なく、6組の子たちとあまり一緒に練習ができなかったけれど、本番では他のクラスと互角に戦えたということが、私たちのチームの本当の強さなんだと改めて思いました。その結果がチームジャンプによくできていると思えました。選抜でもベストが出て、全員でも全クラスの中で一番多く跳ぶことができました。うれしかったけど驚きはしませんでした。みんながたくさん声を出してくれて、全力でやってくれて、他のクラスより跳べないはずがないと思ったからです。

結果的には優勝はできなかったけれど、あの一体感が私は大好きです。他の行事でもみんなと協力できるのを楽しみにしています。

『初めて感じた体育祭』 2年3組 ○○○

私は小学校の頃から、運動会や体育祭で最下位をとったことがありませんでした。それに、どの競技でも2位や3位になったのは初めてです。

今まで1位や2位ばかりとっていたからか、最下位になってかなり心がズタボロになりました。きっと私以外にもいるのかもしれませんが。優勝したクラス的笑容やしやいでいる姿を見て、正直少しムカッとした時がありました。元気がなくなったりもしました。でも去年、私たちのクラスが優勝したときも、他のクラスの人、「こんな気持ちだったのかな」「私たちもたくさん笑ってはしゃいでいたよな」と思い返していました。普通に考えて、「そりゃ勝ったら誰でも喜ぶよね」と深く考えました。

でも、考え直しました。順位や得点だけが大切ではないと。大森先生が言うように、どれだけ声を出せたか、どれだけ本気で競技に向き合えたか、そしてどれだけ楽しめたかが重要で、大切なのかなと思えました。果たしてこれが正解なのかわかりません。ですが、私なりの「大切なこと」をこれから心掛けて、中学校の体育祭は、あと1回残っているので、そのときはもっともっと頑張ります。悔しくてもすべて笑顔で乗り越えます。

私にとっては、この「悔しい」と感じた気持ちは、次に生かすことができるので、大切だと思いました。

